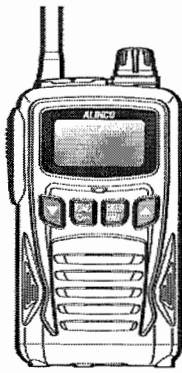


特定小電力ハンディトランスシーパー
(総務省技術基準適合品)

DJ-PB27
取扱説明書



本書には基本的な操作方法を記載しています。
拡張機能については弊社ホームページをご覧ください。

アルインコのトランスシーパーをお買い上げいただきましてありがとうございます。
本製品の機能を十分に発揮させ、効果的に使用いただくため、この取扱説明書をご使用前に最後までお読みください。アフターサービスなどについても記載していますのでこの取扱説明書と大切に保管してください。また、補足シートや正誤表が入っている場合は、取扱説明書と合わせて保管してください。ご使用中の不明な点や不具合が生じたとき、お役に立ちます。本製品は免許・資格不要の特定小電力無線機として、各種通信にお使いいただけます。

アルインコ株式会社 電子事業部
東京営業所 〒103-0027 東京都中央区日本橋2丁目3番4号 日本橋プラザビル14階 TEL.03-5278-5688
大阪営業所 〒541-0043 大阪府中央区東船場4丁目4番9号 産産ビル13階 TEL.06-7639-2361
福岡営業所 〒812-0016 福岡市博多区博多駅前1丁目2番6号 第三多摩ビル7階 TEL.092-473-9034

アフターサービスに関するお問い合わせは
お買い上げの販売店または、フリーダイヤル 0120-464-007
受付時間 10:00~17:00 (月曜~金曜) (祝日を除く)
ホームページ <http://www.alinco.co.jp/> 「電子事業」をご覧ください。

安全上のご注意

製品を安全にご使用いただくため、「安全上のご注意」をご使用前にお読みください。

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損失を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

表示	表示の意味
	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が軽傷を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
図記号	表示の意味
	△記号は、注意(危険・警告含む)を促す内容があることを告げるものです。図の中には具体的な注意内容が描かれています。
	○記号は、行為の禁止であることを告げるものです。図の中には具体的な禁止内容が描かれています。
	◎記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中には具体的な指示内容(左図の場合はACアダプターをコンセントから抜く)が描かれています。

本製品の故障、誤作動、不具合、あるいは充電器などの外部機器にて通信などの機能を果たすために生じた障害などの特殊経路に関しつて示して、当社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

警告・注意
●使用環境・条件
この製品を人命救助などの目的で使用して、万一、故障・誤動作などが原因で人命が失われることがあっても、製造元および販売元はその責任を負うものではありません。この製品を、または他のトランスシーパーとともに至近距離で複数台使用しないでください。お互いの影響により故障・誤動作、不具合の原因となります。

- この製品を人命救助などの目的で使用して、万一、故障・誤動作などが原因で人命が失われることがあっても、製造元および販売元はその責任を負うものではありません。
- この製品を、または他のトランスシーパーとともに至近距離で複数台使用しないでください。お互いの影響により故障・誤動作、不具合の原因となります。
- 指定以外のオプションや会社のアクセサリ製品を接続しないでください。故障の原因となります。
- 自動車などの運転中に使用しないでください。交通事故の原因となります。
- 運転者が使用するときは車を安全な場所にとめてからご使用ください。携帯型トランスシーパーを運転中に使用すると道路交通法違反で罰せられます。
- この製品を使用できるのは、日本国内のみです。国外では使用できません。This product is permitted for use in Japan only.
- 直射日光が当たる場所や車のヒーターの吹き出し口など、異常に温度が高くなる場所に保管しないでください。内部の温度が上がると、ケースや部品が変形・変色したり、火災の原因となる場合があります。
- 調理台や加温器のそばなど油煙や煙気が当たるような場所に保管しないでください。火災・感電・故障の原因となる場合があります。
- 電波を使用している関係上、トランスシーパーの選定は第三者による妨害を完全に阻止することはできません。そのため、機密を守る重要な通話に使用することはお勧めできません。
- 内部から漏れた液が皮膚や衣服に付着したときは、皮膚に障害を起こすおそれがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。

- 電子機器の近くでは使用しないでください。電波障害により機器の故障・誤動作の原因となります。
- 航空機内、空港敷地内、新幹線車両内、中継局周辺では使用しないでください。運行の安全や無線機の運用、放送の受信に支障をきたしたり、各種機器が故障・誤動作する原因となります。
- 病院や検査施設では、医療機器などに支障を及ぼす恐れがあります。管理者の許可のもとご使用ください。
- トランスシーパーを使用しただけによっても、いかなる誤動作・不具合が生じても、当社は一切その責任を負いませんのでご了承ください。
- テレビやラジオの近くで使用しないでください。電波障害を与えたり、受けたりすることがあります。
- 湿度の高い場所、ほこりの多い場所、風通しの悪い場所には置かないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- くらくらしたの上や嘔吐、頭痛の多い場所には置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となる場合があります。
- 直射日光が当たる場所や車のヒーターの吹き出し口など、異常に温度が高くなる場所に保管しないでください。内部の温度が上がると、ケースや部品が変形・変色したり、火災の原因となる場合があります。
- 調理台や加温器のそばなど油煙や煙気が当たるような場所に保管しないでください。火災・感電・故障の原因となる場合があります。
- 電波を使用している関係上、トランスシーパーの選定は第三者による妨害を完全に阻止することはできません。そのため、機密を守る重要な通話に使用することはお勧めできません。
- トランスシーパー本体の取り扱いについて
 - イヤホンを使用する場合、あらかじめ音量を下げてください。聴力障害の原因となる場合があります。
 - アンテナを折って目などにささないようにしてください。
 - 長時間ご使用にならないときは、安全のため必ず本体の電源をOFFにして、電池を取り出し、充電器をご使用の場合はACアダプターをACコンセントから抜いてください。
 - マイク部にシール類を貼らないでください。相手に音声が聞こえなくなります。
 - このトランスシーパーは調整済みです。特定小電力トランスシーパーをユーザーが改造、変更することは法律で禁止されています。サイズ違いのアンテナに交換することはできません。
 - 防振保護には条件があります。水などで濡れやすい場所(風呂場など)では使用しないでください。故障の原因となります。
 - 布や布巾で覆ったりしないでください。熱がこもり、ケースが変形したり、火災の原因となります。直射日光を避けて風通しの良い状態でご使用ください。
 - 水をかけた後、水が入りついたり、また故意にぬらすないようにご注意ください。故障の原因となります。
 - 近くには小さな金物や水などの入った容器を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電・故障の原因となります。
 - イヤホン/マイク/ホン端子にはオプションのイヤホン/マイク/ホン以外には接続しないでください。故障の原因となる場合があります。
 - 湿気や水分、異物の混入などによる故障の場合は、保証対象外となります。
- 充電器の取り扱いについて
 - 充電器のACアダプターを、ACコンセントに確実に差し込んでください。ACアダプターの刃に金属などが刺れると、火災・感電・故障の原因となります。
 - 指定以外の電圧で使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
 - 充電器のACプラグのコードをタコ足配線しないでください。加熱・発火の原因となります。
 - ぬれた手で充電器のACアダプターに触れたり、抜き差ししないでください。感電の原因となります。
 - 充電器のACアダプターの刃に、ほこりが付着したまま使用しないでください。ショートや加熱により火災・感電・故障の原因となります。
 - 充電器のACアダプターを抜くときは、コードを引っ張らないでください。火災・感電・故障の原因となります。必ずACアダプターを持って抜いてください。
 - 充電器のACアダプターを蒸気鍋などに近づけないでください。火災・感電・故障の原因となる場合があります。
- 異常時の処置について
 - 以下の場合は、すぐ本体の電源をOFFにして、電池を取り出し、充電器をご使用の場合は、ACアダプターをACコンセントから抜いてください。異常な状態のまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。修理はお買い上げの販売店、または当社サービス窓口にご相談ください。お客様による修理は、違法です。絶対に止められてください。
 - 異常な音が出たり、煙が出たり、変な臭いが出たり、ケースが変形したりしたとき
 - 内部に水や異物が入ったとき
 - ACアダプターのコードが痛んだとき(充電の漏れや断線など)
- 事故が起きたら安全のため本体の電源をOFFにし、充電器をご使用の場合はACアダプターをACコンセントから抜いて、ご使用をお控えください。
- 保守・点検
 - 汚れた場合は柔らかいきれいな布で乾拭きしてください。
 - ペンシール、シリナー、アルコール、洗剤などを使うと外装や文字が変色する恐れがあります。
 - 洗剤などを直接トランスシーパーに吹きかけないでください。機体内部に浸透し故障の原因となります。
 - お手入れの際は、安全のため必ず本体の電源をOFFにして、電池を取り出し、充電器をご使用の場合はACアダプターをACコンセントから抜いてください。
 - 本体や充電器のケースは、開けないでください。火災・感電・故障の原因となります。内部の点検・修理は、お買い上げの販売店または当社サービスセンターにご相談ください。
 - 製造番号ラベルをはがさないでください。製造番号がわからないと保証サービスをお受け頂くことができません。

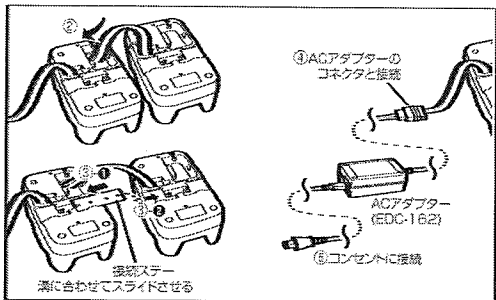
- 使用前のご注意**
- ご使用環境
高温、多湿、直射日光の当たるところ、動じんの多い場所では避けてください。
 - 分解しないで
特定小電力トランスシーパーの改造、変更は法律で禁止されています。分解したり内部を開けるとは絶対してしないでください。
 - ご使用禁止場所
本機は総務省技術基準適合品ですが、使用場所によっては思わぬ電波障害を引き起こす場合があります。次のような場所では使用しないでください。(航空機内、空港敷地内、新幹線車両内、中継局周辺、病院内など)
 - 日本国内のみ使用してください。
This product is permitted for use in Japan only.
 - 通信距離
通信できる距離は周回の状況によって大きく異なります。
●高上、山頂など条件のよい所: 2km またはそれ以上
●河原など障害物のない平地: 500m ~ 1km 程度
●見通しのよい道、郊外の住宅地: 500m 程度
●市街地のような障害物の多い所: 200m 程度
- 特定小電力の通信制限について**
- 特定小電力トランスシーパーの通信に関する制限事項について説明します。
- 3分制限 (3分以上は連続で送信できません)**
10秒前に警告音が鳴ります。通信時間が合計3分になると自動的に送信は停止します。中継通話の場合も連続した中継動作は3分で停止します。
- 注意: 3分の通信時間制限により、自動的に通信が停止した後は、約2秒たつたあとに次の表示になります。
- キャリアセンス (受信中は送信できません)**
一定の強さ以上の信号を受信しているときは[PTT]キーを押しても送信できません。受信中に[PTT]キーを押すとアラーム音(ブザー)が鳴り、送信できないことをお知らせします。
- 注意: ビープをOFFにしているとき、アラーム音は鳴りません。

- 付属品と取り付け方**
- 付属品をご確認ください
- ベルトクリップ
 - 取扱説明書(本書)
 - バンドストラップ
 - 保証書
- ベルトクリップの取り付け**.....
ベルトクリップを本機背面の背画にスライドさせてはめ込みます。
取り外すときはロックレバーを押しながら下方向へスライドします。
- バンドストラップの取り付け**.....
本機背面上部にあるストラップ用の通し穴に取り付けます。
- 電池の入れ方**
- カバーを開ける
ロックを外してカバーを開けます。
 - 電池を入れる
+ / - の表示に従って単三形乾電池3本をセットします。
 - カバーを閉める
カバーを開閉ロックをかけます。
- 乾電池を開閉の電池や、新品と古い電池を混ぜて使用しないでください。
市販の単三形充電電池は使用できません。
しばらく使用しないときは電池をトランスシーパーから取り外してください。
電池を入れたままで長時間待っていると発熱したり、電池が膨らんだりして故障の原因となります。
電圧カバードダイヤルツマミは修理部品としてお求めいただけます。
乾電池へのご注意

- 充電機および充電器(オプション)**
- 充電機、充電器および関連するアクセサリは下記のとおりです。
- | | |
|---------------------------------------|--------------------------------------|
| ニッケル水素バッテリー EBP-25NH (3.6V / EOC04AH) | リチウムイオンバッテリー EBP-70 (3.7V / 1000mAh) |
| ツイン充電器セット EDC-109J (充電約2時間) | ツイン充電器セット EDC-158A (充電約2.5時間) |
| ツイン充電器セット EDC-115 (充電約12時間) | ツイン充電器セット EDC-184A (充電約2.5時間) |
| 携帯充電用ACアダプター EDC-162 | |
| 充電用ACアダプター EDC-122 | |
- ニッケル水素バッテリー EBP-25NHの充電(EDC-109J/EDC-115)**.....
- ①ニッケル水素バッテリーEBP-25NHを極性に注意してトランスシーパーに装着します。
 - ②ACアダプターのプラグを充電スタンドのジャックに接続します。
 - ③ACアダプターを家庭用コンセントAC100Vに接続します。
 - ④トランスシーパーを充電スタンドのポートに挿入します。
 - ⑤充電が開始されEDC-109Jでは赤色ランプが点灯し、EDC-115では赤色ランプが点灯します。
 - ⑥EDC-109Jでは充電が完了すると赤色ランプが点灯し、EDC-115では赤色ランプが点灯します。
 - ⑦EDC-115では約12時間で充電が完了しますので、時間が経過したらトランスシーパーを充電スタンドから抜いてください。EDC-115の赤色ランプは消電を示すものであり、トランスシーパーを挿入しているときは常に点灯しています。
- リチウムイオンバッテリー EBP-70の充電(EDC-158A/EDC-184A)**.....
- ①リチウムイオンバッテリーEBP-70を極性に注意してトランスシーパーに装着します。
 - ②ACアダプターのプラグを充電スタンドのジャックに接続します。
 - ③ACアダプターを家庭用コンセントAC100Vに接続します。
 - ④トランスシーパーを充電スタンドの、前後のポートに挿入します。
 - EDC-158Aは2台同時に充電することもできます。
 - ⑤充電が開始され赤色ランプが点灯します。
 - ⑥充電が完了すると赤色ランプが点灯します。EDC-184Aでは緑色ランプが点灯します。
 - ⑦バッテリーパック単品で充電することもできます。
 - ⑧バッテリーパックの極性に注意して充電スタンドに装着してください。
- 充電器の取り扱いについて**
- 充電器の正面のポットではランプが点灯する6個のポートは点灯しない。あるいはその動作を確認する場合は、しばらくトランスシーパーを充電スタンドから抜いてください。
- 注意** 充電器の正面のポットではランプが点灯する6個のポートは点灯しない。あるいはその動作を確認する場合は、しばらくトランスシーパーを充電スタンドから抜いてください。
- 注意** 充電器の正面のポットではランプが点灯する6個のポートは点灯しない。あるいはその動作を確認する場合は、しばらくトランスシーパーを充電スタンドから抜いてください。

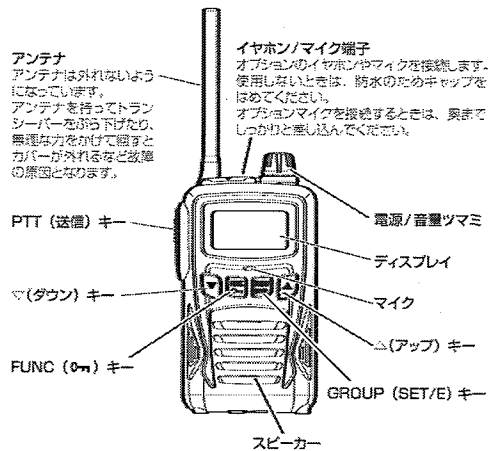
連結スタンド EDC-158R による充電
EDC-158Rを使用して連結充電する場合、必ず大容量のACアダプターEDC-162が必要で

- ① ACアダプターがEDC-162であることを確認します。
- ② スタンドのコネクタどうしを接続します。スタンドは最大4台まで連結できます。
- ③ 付属の接続ステーをスタンド底面の溝に合わせてスライドさせます。確実にスタンドどうしが固定されたことを確認してください。
- ④ ACアダプターのコネクタを、端のスタンドのコネクタに接続します。
- ⑤ ACアダプターを専用コンセントAC100Vに接続します。
- ⑥ トランシーバーまたはバッテリーパック単品を充電スタンドのポケットに挿入します。充電が開始され赤色ランプが点灯します。最大8台まで同時に充電することができます。
- ⑦ 充電が完了すると赤色ランプが消灯します。



各部の名前とはたらき

前面部



ディスプレイ



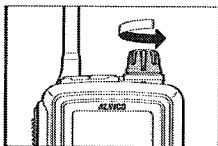
基本操作

本機の基本となる操作方法を説明します。カスタマイズ方法や拡張機能については弊社ホームページをご覧ください。

交互通話

電源を入れる

電源/音量ツマミを時計方向に回します。



音量を調整する

電源/音量ツマミを時計方向に回すと音量が大きくなります。マキーと△キーを同時に押すと「ザー」というノイズが聞こえ、音量の目安となります。適切な音量に調整してください。

チャンネルを合わせる

マまたは△キーを押して交互通話用チャンネルのL01～09、b01～11を選択します。通話したいトランシーバー全てを同じチャンネルに合わせてください。キーを押しながらチャンネルが切り替わります。

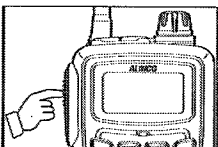


受信する

信号を受信するとスピーカーから相手の声が聞こえます。ディスプレイのSメーターが信号の強さに応じて点灯します。

送信する

信号を受信していないことを確認してから [PTT] キーを押します。→ [PTT] キーを押しながらマイクに向かって話します。マイクと口元は約5cm離してください。一定の強さ以上の信号を受信しているときは警告音「プププ」が鳴り送信できません。 [PTT] キーを離すと受信待ち受け状態に戻ります。



コールトーン機能

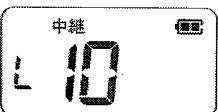
送信中にマまたは△キーを押すと、呼び出し音が鳴り相手呼び出すことができます。マと△キーでは音色が異なります。

中継通話

直接の通信では電波が届かない場所にいる相手と中継器を介して通話することができます。別途、弊社製の中継器が必要です。

チャンネルを合わせる

マまたは△キーを押して中継通話用チャンネルのL10～18、b12～29を選択します。→ 「中継」が点灯します。



送信する

[PTT] キーを押しながら話します。→ 後に「ビビ」という音が鳴ります。 [PTT] キーを押しながらマイクに向かって話します。

メモ お使いになる中継器の設定をご確認ください。中継器にグループトーク機能が設定されている場合は、本機にもグループトーク機能を設定してください。

注意 中継用チャンネルは予備チャンネルの指定はできません。それ以外のチャンネルに指定すると通話することがあります。予備・中継器、予備・予備は10dB以上離してください。お使いになる中継器の仕様によっては通話がうまくおこなえないことがあります。そのようなときはセットモードの中継器接続手順を変更してください。

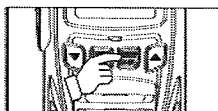
グループトーク機能

同じグループの人とだけ通話したいときは、グループトーク機能を使用します。

ノイズ音や混信を低減する効果があります。

[GROUP] キーを押す

→ グループ番号が点灯します。



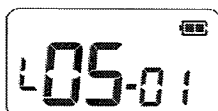
グループ番号を合わせる

[FUNC] キーを押しながらマまたは△キーを押して自分のグループのトランシーバーを全て同じグループ番号に合わせてください。

グループ番号は01～50を選択できます。

送信する

[PTT] キーを押しながらマイクに向かって話します。→ 同じチャンネル、同じグループ番号の相手とだけ通話できます。



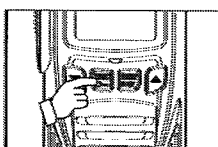
キーロック

キーロックしておくことで誤操作を防止できます。

簡易キーロック (Loc1)

[FUNC] キーを約2秒押します。→ 「Loc1」が点灯したあと「0m」が点灯します。

解除するには同じキー操作をします。



セットモード

各種機能を用意やお好みに合わせてカスタマイズすることができます。

セットモードにする

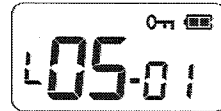
- ① [FUNC] キーを押しながら [SET] キーを押します。→ セットモードに入り項目が表示されます。
- ② [SET] キーを押すごとに項目が切り替わります。 [FUNC] キーを押すと前項目に戻ります。
- ③ マまたは△キーを押して設定値を変更します。
- ④ [PTT] キーを押して設定を完了します。

メモ セットモードについての詳しい内容は、弊社ホームページをご覧ください。 <http://www.alinco.co.jp/> 「電子事業」

セットモード	機能説明	選択項目	初期値
bt-AL	電池選択 (アルカリ / Li-Ion / Ni-MH)	AL / Li / ni	AL
CP-oF	コンパウンダー (雑音低減)	OFF / ON	OFF
vo-oF	VOX (音声検知装置)	OFF / Lo / Hi	OFF
SC-oF	秘話	OFF / ON	OFF
bP-Lo	ビーブ音量 (操作音)	OFF / Lo / Hi	Lo
EP-on	エンドビー (送信終了音)	OFF / ON	ON
bL-oF	ベル (呼び出しお知らせ)	OFF / ON	OFF
LP-5	ランプ	OFF / 5秒 / ON	5秒
PH-oF	PTT ホールド (送信保持)	OFF / ON	OFF
Pt-on	PTT オフオフ (送信禁止)	OFF / ON	ON
At-2	中継器接続手順	OFF / 1 / 2	2
Er-on	イヤホン断線検知	OFF / ON	ON
Ob-oF	コールバック	OFF / ON	OFF
Pa-Hi	送信出力 (Hi: 10mW / Lo: 1mW)	Lo / Hi	Hi
EG-oF	緊急通報機能 ([SET/E] 長押しで通報)	OFF / ON	OFF

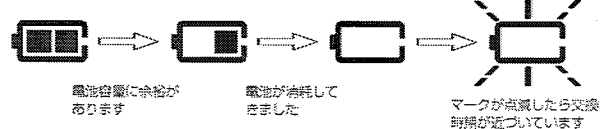
通常キーロック (Loc2)

[FUNC] キーと [GROUP] キーを同時に約2秒押しします。→ 「Loc2」が点灯したあと「0m」が点灯します。解除するには同じキー操作をします。



減電池表示

電池の残量はディスプレイに4段階で表示されます。



「電源が入らない」「ON/OFFを繰り返す」「ディスプレイ表示が消える」「ハウリング」などの症状が出た場合も電池の消耗が考えられます。新しい電池と交換してください。

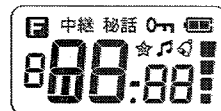
しばらくご使用にならないときは、必ず電池を取り外してください。

メモ 「電池選択 (セットモード) 設定が確定でないとき正しいタイミングで電池交換時期を表示しませんが、

リセット

設定状態や操作がわからなくなったときに初期化します。

[FUNC] キーを押しながら電源を入れます。→ ディスプレイ全点灯中に [FUNC] キーを離します。→ 工場出荷状態の L01 チャンネルになります。



その他の機能

本書には記載していない拡張機能については弊社ホームページをご覧ください。 <http://www.alinco.co.jp/> 「電子事業」内容をよく理解してからこれらの機能をお使いください。

デュアルオペレーションモード

メイン サブの2つのチャンネルを1秒ごとに交互受信し、そのどちらとも通話することができるモードです。1台のトランシーバーで2台のはたらきをします。

リモコンモード

本機をリモコンとして中継器のチャンネルなどを遠隔操作する機能です。本機は中継器 DJ-P101R、DJ-P111R、DJ-P112R に対応しています。

メモ 誤ってこれらのモードに切り替わり、ディスプレイにおかしな表示が出たときは電源を入り直すことで正常な状態に戻すことができます。

故障とお考えになる前に

症状	原因	処置
電源が入らない、表示が消える。	電池の入れ方が間違っている。 電池が消耗している。	電池を正しく入れ直してください。 新しい電池と交換してください。 充電機を充電してください。
音が出ない、受信しない。	音量が低すぎる。 チャンネルが違っている。 グループ番号が違っている。	適切な音量に調整してください。 同じチャンネルに合わせてください。 同じグループ番号に合わせてください。
送信できない。	番号を受信している。 3分の送信制限時間を超過している。	番号がなくなつてから送信するか、チャンネルを変更してください。 PTT キーを離し2秒たってから送信してください。
キー操作できない。	キーロックされている。	キーロックを解除してください。
充電しない	充電端子が汚れている。 充電機が専用品でない。	充電端子の汚れを乾いた布で拭き取ってください。 専用充電機 EBP-25NH、EBP-70 を使用してください。

処置を実施しても異常が続くときはリセットしてください。電池が消耗していると誤動作することがあります。新しい電池と交換してください。

製造中の製品に対する保身年限に関して

生産終了製品に対しては下記の一定期間補修用部品を常備しています。不測の事態により在庫がなくなる場合もあり、修理ができないこともありますのでご了承ください。補修用部品の保有期間は生産終了後5年です。

オプション一覧

EBP-25NH ニックル水素バッテリーパック	EME-21AB イヤホンマイク黒 (カナル型)
EBP-70 リチウムイオンバッテリーパック	EME-29A イヤホンマイク (耳かけ型)
EDC-109J ツイン充電器セット (EBP-25NH用)	EME-57A イヤホンマイク (カナル型/耳かけ)
EDC-115 シングル充電器セット (EBP-25NH用)	EME-30A イヤホンマイク (ブームマイク)
EDC-158A ツイン充電器セット (EBP-70用)	EME-31A イヤホンマイク (マイクロスピーカー)
EDC-158R ツイン充電スタンド (EBP-70用)	EME-31A イヤホンマイク (耳かけ型)
EDC-162 連結充電用 AC アダプター	EME-32A イヤホンマイク (オープンエア型)
EDC-184A シングル充電器セット (EBP-70用)	EME-53A ヘルメット用ヘッドセット
EME-6 ストレートコードイヤホン (オープンエア型)	EME-34A イヤホンマイク (カナル型)
EME-26 カールコードイヤホン (オープンエア型)	EME-49A イヤホンマイク (オープンエア型)
EME-50 ストレートコードイヤホン (耳かけ型)	EME-39A 聴取イヤホンマイク
EME-21A イヤホンマイク (カナル型)	EMS-59 スピーカーマイク (PTTホールド、VOX機能不可)
	ESC-61 ソフトケース

チャンネル表示

●交互通話

交互通話用の20チャンネルを搭載しています。(12.5kHzステップ)

レジャー9チャンネル L01 (422.2000MHz)	ビジネス11チャンネル b01 (422.0500MHz)
L09 (422.3000MHz)	b11 (422.1750MHz)

●中継通話

中継通話用の27チャンネルを搭載しています。(12.5kHzステップ)

レジャー9チャンネル L10 (421.8125/440.2625MHz)	ビジネス18チャンネル b12 (421.5750/440.0250MHz)
L18 (421.9125/440.3625MHz)	b29 (421.7875/440.2375MHz)

定格

送信周波数	レジャーチャンネル	422.2000 ~ 422.3000MHz (交互)
		421.8125 ~ 421.9125MHz (中継受信)
		440.2625 ~ 440.3625MHz (中継送信)
	ビジネスチャンネル	422.0500 ~ 422.1750MHz (交互)
		421.5750 ~ 421.7875MHz (中継受信)
		440.0250 ~ 440.2375MHz (中継送信)
	制御チャンネル	421.8000/440.2500MHz
電波形式	F3E (FM) / F1D (FSK)	
送信出力	10mW / 1mW	
受信感度	-14dBμ (12dB SINAD)	
音圧出力	400mW以上 (本体スピーカー) / 80mW以上 (外部出力)	
通信方式	単音 / 半複信	
定格電圧	DC4.5V (単三形乾電池3本)	
動作温度範囲	-10 ~ +50°C	
寸法	幅54.8mm × 高さ94mm × 厚さ27.3mm (突起物除く)	
	アンテナ上方向状態の高さ165.4mm	
重量	約174g (単三形乾電池3本含む/ベルトクリップ除く)	

仕様・定格は予告なく変更する場合があります。本書の説明用イラストは、実物とは字体や形状が異なったり、一部の表示を省略している場合があります。本書の内容の一部、または全部を無断転載することは禁止されています。